

西之島の火山活動解説資料

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

< 火口周辺警報（入山危険）を発表 >

海上保安庁が本日（20 日）14 時過ぎに実施した上空からの観測によると、西之島で噴火の発生が確認されました。気象衛星ひまわりにより 19 日夜から周囲に比べて地表面温度の高い領域を確認しています。

今後も噴火が継続する可能性がありますので、本日 16 時 25 分に火口周辺警報（入山危険）16 時 30 分に火山現象に関する海上警報を発表しました。火口から概ね 1.5km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

活動概況及び防災上の警戒事項

海上保安庁が本日（20 日）14 時過ぎに実施した上空からの観測によると、西之島で噴火の発生が確認されました。火砕丘の山頂部の第 7 火口から飛散する大きな噴石や、山頂及び山腹から流出したと考えられる溶岩が確認されました（図 3 - 1、3 - 2、図 4）。

気象衛星ひまわりの観測によると、19 日夜から、西之島付近で周囲に比べて地表面温度の高い領域を確認しています（図 5）。

西之島では、2013 年から 2015 年にかけて今回のような噴火を繰り返しており、今後も噴火が継続する可能性があります。火口から概ね 1.5km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください（図 2）。

西之島で噴火が確認されたのは 2015 年 11 月 17 日以来です。最近では地表面温度が低下し、2017 年 3 月 22 日に海上保安庁が実施した上空からの観測でも、噴気等は確認されず、活動が低下した状態が継続していました。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

この資料は、海上保安庁のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。



図1 伊豆・小笠原諸島の活火山分布、及び西之島の位置図
西之島は、東京の南約 1000km、父島の西約 130km に位置します。

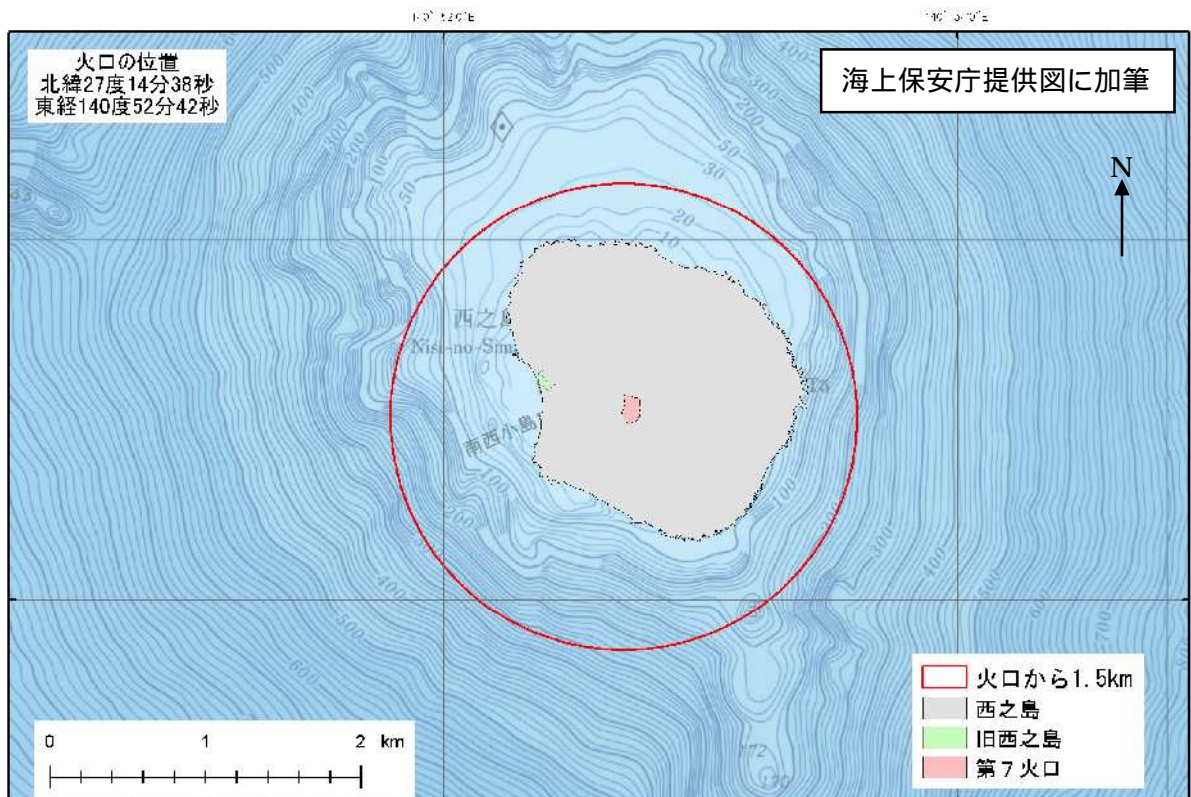


図2 西之島 警戒が必要な範囲 海底地形は噴火前のもので、現状とは異なります。

- ・警戒が必要な範囲は火口から概ね 1.5km 以内です。
- ・4月20日16時25分に火口周辺警報（入山危険）16時30分に火山現象に関する海上警報を発表しました。



図3 - 1 西之島 流出した溶岩の様子
（4月20日14時22分撮影
海上保安庁提供）

・火砕丘の山頂及び山腹から流出したと
考えられる溶岩が確認されました



図3 - 2 西之島 第7火口から飛散する大きな噴石（4月20日14時22分撮影 海上保安庁提供）

・第7火口からは、噴火によって大きな噴石が飛散していました。

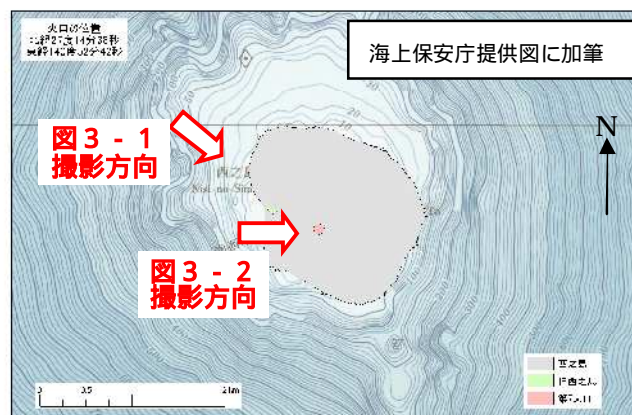


図4 西之島 図3の撮影方向
海底地形は噴火前のもので、現状とは異なります。

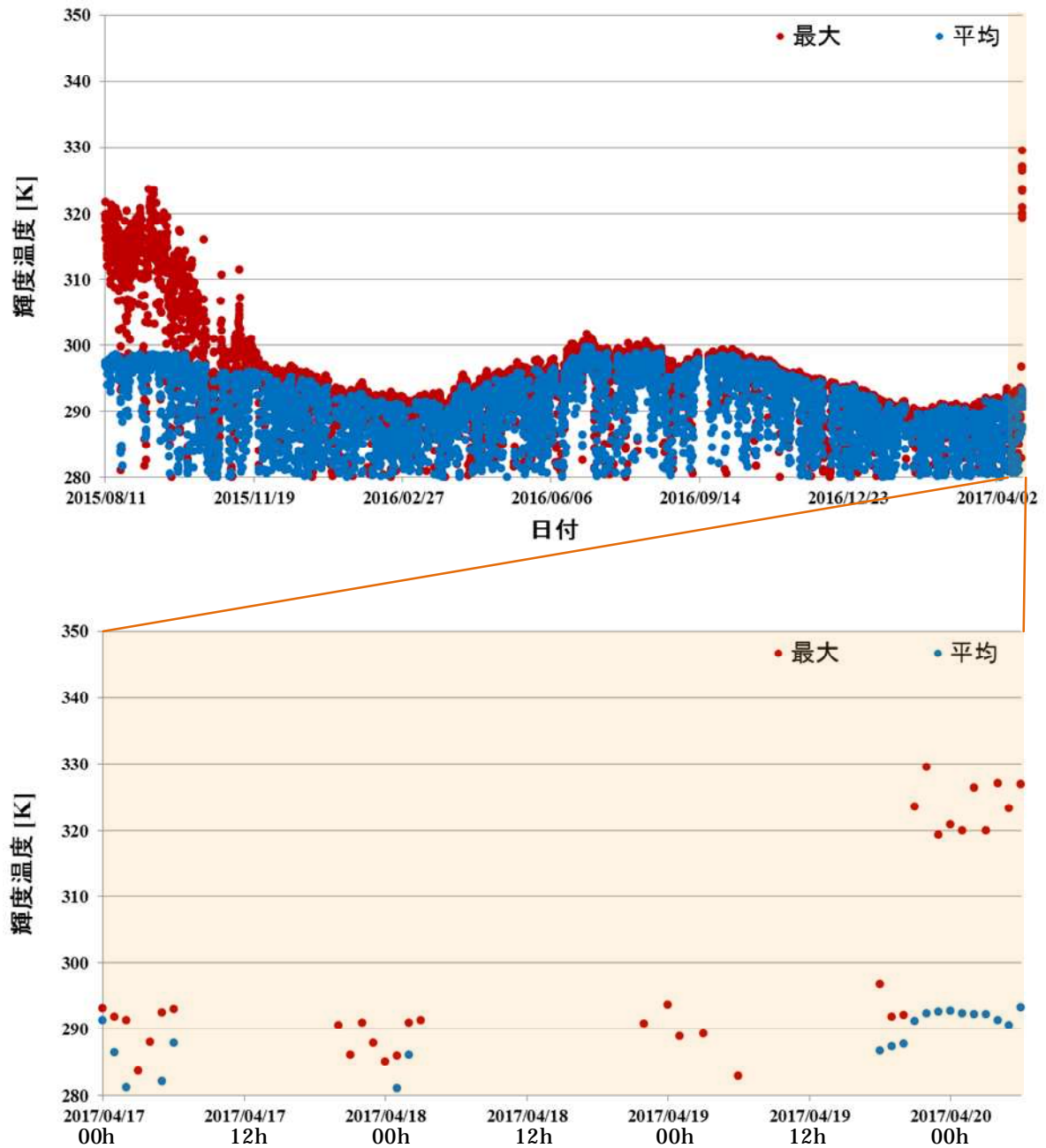


図5 西之島 ひまわり 8 号の観測による西之島付近の輝度温度の変化
 解析は夜間のみ、輝度温度は中心波長 $3.9\mu\text{m}$ 帯による観測

- ・西之島を含む概ね 30km 四方の領域内の輝度温度（気象衛星ひまわり 8 号の観測による）の、最大値（赤）と平均値（青）を示しています。西之島では、19 日夜から地表面温度の高い領域が確認されています。